



報 道 機 関 各 位

令和3年5月26日

北本市定例記者会見項目

議 案

補正予算関係

- ・ 令和3年度北本市一般会計補正予算（第5号）の概要等・・・資料1、2

令和 3 年度一般会計補正予算（第 5 号）の概要

1 補正予算の規模

一般会計（第 5 号）	55,433 千円(補正後累計)	21,489,514 千円
-------------	------------------	---------------

2 一般会計補正(第 5 号)の内容

(歳出)

○ 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

庶務事務システム導入事業	23,760 千円
--------------	-----------

路線バス運行維持支援事業	2,100 千円
--------------	----------

避難所物品充実事業	20,141 千円
-----------	-----------

小中学校手洗い場水栓ハンドル改修事業	8,114 千円
--------------------	----------

○ その他

設備移設工事	676 千円
--------	--------

著作物使用料	642 千円
--------	--------

(歳入)

国庫補助金（公立学校情報機器整備費補助金 外 1 件）	1,278 千円
-----------------------------	----------

財産収入（土地売払収入 1 件）	4,292 千円
------------------	----------

繰入金（財政調整基金繰入金）	49,187 千円
----------------	-----------

諸収入（雑入 1 件）	676 千円
-------------	--------

65歳以上高齢者への 新型コロナウイルスワクチン個別接種スタート

北本市では、新型コロナウイルス感染症によるクラスター等の発生防止の観点から、高齢者施設の入所者及び従事者への接種を最優先とし、5月7日（金）から先行して接種を開始しています。

このたび、本日5月26日（水）から65歳以上の一般高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。初日は市内31医療機関で計576名が接種（見込み）し、今後は、毎週約3,500名程度のペースで、高齢者への接種が行われる見込みです。

市内介護老人保健施設でのワクチン接種



ファイザー製ワクチンを超低温冷凍庫に収納



ワクチンの供給状況

供給数計 39箱(予定17箱含む) 44,655回分 * 令和3年5月25日(火)現在
予定分も、順次供給される見込みです。

予約状況

令和3年5月25日(火)現在 8,336人が予約済 * 対象:約20,000人(施設入所者除く)

WEBサイト予約受付 第2弾スタート

令和3年5月27日(木)午前9時30分 開始

* WEBサイトで約8,500人分を受け付けます。(2回目接種分は除く)

(これにより1回目接種分として、合計で約17,500人(対象者の8割強)の予約が可能となります)

担当者から一言

新型コロナウイルス感染症予防のため、多くの市民の方に接種いただきますようお願いいたします。

北本市 kitamoto city

北本市役所 市長公室
政策調査担当 福島、穴沢
048-511-7700
a02600@city.kitamoto.lg.jp

オンラインシンポジウム「地域循環共生圏 ～循環と共生のまち きたもと～」を開催しました。

概要

地域循環共生圏は「ローカルSDGs」とも言われ、国の第五次環境基本計画の中で、国際連合の「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方を取り入れたものとして提唱されました。

これは、自分たちの目の前にあるものの可能性をもう一度考え直し、足元にある地域の資源を最大限有効活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、環境・経済・社会が統合的に循環し、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。

5月8日に、本市における地域循環共生圏のあり方について、**京都大学の田中克名誉教授**や**環境省の中井徳太郎事務次官**に参加いただき、リモートで、基調講演やパネルディスカッションを実施しました。

日程等

開催日時 令和3年5月8日（土）13:00～17:00

オンライン配信

テーマ 地域循環共生圏
～循環と共生のまち きたもと～



[詳細ホームページ](#)

登壇者のコメント

京都大学 田中名誉教授

略歴 京都大学大学院農学研究科水産学専攻博士課程を修了。農学博士を取得。現在は京都大学名誉教授として研究に従事。稚魚をはじめとする海と水産の研究者として、多分野の視点を取り入れながら40年以上研究活動を行い、近年は森と海、そして里のつながりを示す統合学問「森里海連環学」を提唱し、数多くの業績を残している。

縄文時代は約1万年もの間平和に暮らしていた。人がちゃんと役割を果たしながら暮らすことが平和の根源である。雑木林でくつろぐということは平和そのものの風景であり、そういう意味での「平和のまち、北本」というのはあるのではないかと。

自然の大切さを感じる方法は様々。例えば、北本市の自然の音と、ハイパーソニック・エフェクト（耳からは聞こえない超高周波環境音によって、ストレス低減・免疫機能亢進・心の豊かさ向上等が得られる現象）を掛け合わせ、やすらぎを得られる場所として科学的に証明することで、北本市の宝物を市内外に広め、理解して貰う方法も考えられる。

環境省 中井事務次官

略歴 東京大学法学部を卒業後、旧大蔵省に入省。東日本大震災発生後に環境省に異動し、2020年7月より現職に就任。環境・経済・社会の統合的に循環し地域の活力が最大限に発揮される中で、「新しい成長」を実現するための新しい概念である「地域循環共生圏」を提唱し、我が国発の脱炭素化・SDGsの実現をする取組として積極的に発信、推進している。

改めて本日の報告を聞いても、北本市の取組は環境省のカーボンニュートラル、カーボンゼロという観点からみても合致している。カーボン換算など指標に向き合う必要はあるが、それができるまちなのではないかと期待している。

北本市 市長公室長

市長公室ではこの機会に、新たに市の昆虫や野草等を定めようと考えている。自然が北本市ならではの特徴となり、子どもたちをはじめ多くの人にそれを知ってもらえたらありがたい。

北本市 市長公室シティプロモーション担当 林主査

自然とともにある暮らしを見せて、体感してもらって、それが低炭素につながるという、「暮らし」に基づいた脱炭素を目指せばというお話は心強く、うまく打ち出せるように頑張っていきたい。

観光協会 江澤様

住民の人たちと一緒に物事を実施する際、前提をどこまで共有できるかが大切。常に考え続けるまちなを目指したいし、そのこと自体を発信したい。

本シンポジウムは youtube にて配信中
&green[埼玉県北本市公式 Youtube チャンネル]

<https://www.youtube.com/user/kitamotocity?app=desktop>



担当者から一言

シンポジウムを通じて、平和な暮らしを続けるために、人と自然の共生が大切であることを改めて感じました。また、当市の自然や取組について活発な意見交換を行うことが出来、大変嬉しく思います。

当市は今後も環境省や民間事業者と連携のもと、地域循環共生圏の推進に係る取組を進めるとともに、地域循環共生圏のあり方について、多くの方と共有できればと考えております。

市役所芝生広場 月イチマーケットで繋がる 「&green market (アンドグリーンマーケット)」が始まります



北本市では、屋外での仮設のマーケットは、単なる売り買いの場だけではなく、まちの魅力を知れたり、創業支援の場となったり、地域で活動している人たちが繋がれる場でもあり、北本を知る・好きになる・参加したくなる、まちへの入口になると考えています。また、現在の、コロナ禍における屋外のマーケットは、三密の回避や新たな売り買いの方法、コミュニケーションのあり方を見つけていく上で、重要な位置づけであるとも考えています。



昨年9月から半年間に及んで実施した市民参加型ワークショップ「きたもとで考えるマーケットの学校」では、講義編5回、実習編1回の全6回を通して、参加者のみなさんと一緒に北本におけるマーケットの必要性やあり方を考えてきました。

令和3年度は実践編として、北本市役所前芝生広場「みどりの広場」を舞台に、月に1回程度の連続企画として、小さなマーケットを実際に開催していきます。

手と足を動かしながら北本のマーケットをみんなで考え、作っていく、マーケットの学校実践編『&green market』が始まります。

予 定

令和3年6月19日(土) (予定) 今後毎月開催 次々回7/18(日)

場 所

北本市役所前芝生広場 「みどりの広場」

出店内容

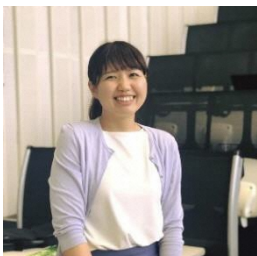
昨年度マーケットの学校参加者を中心とした北本を楽しむマーケットとして、地元野菜、地元野菜を使った店舗等の出店、ワークショップ等を実施

その他

- ・参加者の事前オンラインミーティングや振り返り意見交換会、アドバイザーとの意見交換会・マーケットについての講演会も予定し、「話す・考える」時間を大切にします。
- ・8月開催分より出店希望者を公募予定。(現在募集要項検討中)

担当者から一言

昨年度から実施している「きたもとで考えるマーケットの学校」では、講師・参加者・事務局それぞれが、北本らしいマーケットのあり方について、真剣に対話と実践を重ねました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、1年間を通して、マーケットを実践することで、北本への愛着・推奨・参加意欲の向上を目指し、参加するみなさんと一緒に話し、考え、場を使いながら心地のいい空間を作っていきます。





大型団地「北本団地」にコミュニティと商いの拠点施設がオープン 北本団地シェアキッチン「中庭」お披露目会を開催

お披露目会 概要

合同会社暮らしの編集室が北本市・UR 都市機構・(株)良品計画・(株)MUJIHOUSE と協働で行っている「北本団地活性化プロジェクト」。

大型団地「北本団地」で令和3年6月からのオープンを予定しているシェアキッチン『中庭』のお披露目会を、令和3年5月23日（日）に開催しました。

本プロジェクトは、令和2年11月よりこれまで、2,000戸を超える大型団地「北本団地」を舞台に、五者連携事業としてワークショップやマーケット等を開催してきました。

北本団地『中庭』は、商店街にある住宅付き店舗を活用した、プロジェクトの活動拠点となるシェアハウス（2階）&シェアキッチン（1階）です。

1階店舗の改装にあたっては、北本市と協働した「ふるさと納税型クラウドファンディング」プロジェクトの実施（実施期間：令和2年12月23日～令和3年2月28日、寄附金額：2,004,000円）や、改装ワークショップなどを行い、様々な人を巻き込んだチームとなって、シェアキッチンのオープン準備を進めてきました。

この度、1階店舗のオープンにあたり、寄付者を招待するかたちでお披露目会を開催したところ、当日は100名を超える人が参加者し、「中庭」でのひとときを楽しみました。

【場所】北本団地『中庭』（北本市栄7 1-26-102、北本団地商店街）

合同会社 暮らしの編集 室とは

「暮らしの中からまちに楽しみをつくりだす」をテーマに、令和元年6月より活動しているまちづくりのチームです。
（令和2年4月に合同会社設立）

メンバーは観光協会職員、カメラマン、建築家など様々な背景を持つ、北本団地出身在住の若手メンバーが参加しています。

暮らしの編集室ホームページ
<http://kitamotokurashi.com/>



プロジェクト 全体概要

【北本団地活性化プロジェクト】

北本市にある「北本団地」は、総戸数 2000 戸を超える巨大な団地です。団地中心地には商店街があり、高齢化や少子化に伴い、商店街もシャッター街となっています。

北本団地活性化プロジェクトでは、北本市・暮らしの編集室・UR 都市機構・(株)良品計画・(株)MUJIHOUSE の5者連携事業として、地域資源の発見活用を通して、北本団地の活性化に取り組みます。

北本団地『中庭』は、商店街にある住宅付き店舗を活用した、プロジェクトの活動拠点となるシェアハウス&シェアキッチンです。

2F住宅をシェアして暮らす若者が、1階店舗で地域活性化のための多様な活動（レンタルキッチンを活用したカフェ等）を行います。

住宅付き店舗の2階住宅のリノベーションについては、UR都市機構と(株)MUJIHOUSEによる「MUJI×UR団地リノベーションプロジェクト」事業として、全国初の取組です。

1階シェアキッチンリノベーションについては、借主となる「暮らしの編集室」が改装から運営まで行っています。

市長コメント

シェアキッチン「中庭」のオープンまことにおめでとうございます。

私が市長に就任した2年前にUR都市機構様に就任のあいさつに来ていただき、そこで、暮らしの編集室の江澤さん、岡野さんから、団地の可能性についてUR都市機構様にお話しいただいたことから、このプロジェクトがスタートしたと記憶しています。

その後、(株)良品計画様や(株)MUJIHOUSE(ムジハウス)様にもご賛同いただき、素晴らしい取り組みに発展し、皆様の活動やご支援には感謝しかありません。

また、ふるさと納税型のクラウドファンディングを通し、市内外の124名から200万円を超えるご支援もいただきました。

寄附をくださった方の多くは熱い応援のコメントに加え、1階店舗部分の壁塗りまで手伝ってくださった方がいらっしやると聞いております。

今年で50周年を迎える北本団地がこの先も末永く繁栄していくよう、このプロジェクトをきっかけに子供や若者、北本に関わってくれる人が増えていくことを心から祈念いたします。

50周年記念事業「&green fes」プロジェクトチーム発足！

+あなたのやってみたいを応援「&green project」始動！



&green fes

10月30日（土）開催予定

○まちの未来を考える若者集まれ！

北本市 50 周年を祝し、北本市シティプロモーションコンセプトである「&green-豊かな緑に囲まれた、ゆったりとした街の中で、あなたらしい暮らしを。」を体現し、未来につなげるマーケット・音楽イベント「&green fes(アンドグリーンフェス)」を北本市総合公園で令和3年10月30日(土曜日)に実施予定です。

そんな&green fes の運営を行うボランティアチーム「&green fes プロジェクトチーム」のメンバーを募集します！北本市 50 周年を記念するイベントにかかわってみたい、フェスの運営を通して仲間づくりを行いたい、市役所若手職員やまちづくりにかかわるメンバーと北本の今や未来と一緒に考えたい人を募集したところ、現在までに 12 歳から 68 歳までの男女 11 人の応募がありました。

5月29日(土)に開催する「きたもと暮らし研究会 2021」で顔合わせを行います。

日 時

令和 **3** 年 **5** 月 **29** 日 (土) 13:00~16:00

場 所

北本市役所庁舎ホール

内 容

「&green fes」プロジェクトチーム顔合わせ、「&green project」発表会

その他

プロジェクトチームメンバーは、引き続き募集しています。



担当者から一言

市政50周年を記念するマーケット・音楽イベント「&green fes」をとおして、北本の魅力や今、未来など一緒に考え盛り上げていきます。北本の首都圏近郊都市でありながら、豊かな緑と共に暮らせる魅力を感じていただき、市への愛着醸成・知名度向上をめざします。

北本市 kitamoto city

北本市役所 市長公室
シティプロモーション・広報担当 秋葉
048-594-5505
koho@city.kitamoto.lg.jp

広報きたもと1000号記念特集

市民の皆さんに寄り添い続けて68年。北本市の広報紙が令和3年6月号で発行1000号に。
これを記念し、特集を掲載します。



北本宿村だより第1号（昭和28年8月20日）▶

北本市の広報紙「広報きたもと」は、「北本宿村だより」第1号が昭和28年8月20日に発行されてから68年の時を経て、令和3年6月号で発行1000号を迎えます。1000号発行記念特集「伝え続ける」では、広報きたもとの1000号に至るまで、何を伝え続け、市民の皆さんにとってどんな存在であろうとしてきたのかについて第1号から振り返ります。

発行日

6月1日(火)
(5月26日から
市内配布開始)

内容

- ・ 広報きたもとの誕生
- ・ 広報きたもとの掲載された市民の「顔」「声」
- ・ 広報きたもとの変遷
- ・ 広報きたもとのこれから【職員の自主製作の開始】

担当者コメント

広報きたもとは、隔月発行や1色刷り等形を変えながら、68年間、市民の皆さんに寄り添い続けてきました。1号から紙面を振り返ると、当時の担当者がいかにわかりやすくお伝えするか、いかに読んでもらえる紙面に仕上げるか苦心してきた跡がうかがえます。また、広報きたもとは令和3年5月号から印刷以外のすべての工程を職員による自主製作で賅っています。今回の特集で、これまでの広報きたもとの振り返り「北本って昔から素敵なまちだったんだな」と思っていたかと同時に、今後の広報きたもともにも期待していただければ幸いです。



アルジェリア選手団の事前合宿受け入れ断念 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮

本市は、令和元年12月18日にアルジェリアパラリンピック委員会と締結した協定書に基づき、東京2020パラリンピック競技大会に伴う事前合宿の受け入れに向けて調整を進めてきました。

しかし、現在の新型コロナウイルス感染症(変異株)の全国的な拡大やワクチン接種の進捗状況などから、アルジェリア選手団はもとより、北本市民の安全安心を確保することが難しいと判断し、協議により事前合宿の受け入れ中止を決定しました。

当初の予定

- 日程 令和3年8月上旬～中旬
- 場所 北本市体育センター
- 競技種目 車いすバスケットボール、ゴールボール、柔道、パワーリフティング
- 参加者 約70人(選手・スタッフ)

事前合宿受け入れに伴う懸念事項

- 受入人数に対する感染症対策の徹底
- 重症化リスクが高いパラアスリートへの配慮と対策
- 陽性者が出た場合の保健医療体制の確保
- 行動範囲が制限されることによる選手たちの精神的負担
- 選手たちとの交流事業の制限(接触が生じない形態での交流)

今後の予定

- パラリンピック競技大会期間中のアルジェリア選手団への激励(調整中)
- アルジェリア民主人民共和国関係者との交流事業の実施(調整中)

担当者コメント

事前合宿の受け入れは中止しますが、今後もアルジェリア民主人民共和国のホストタウンとして、交流事業を継続していきます。



日本写真芸術専門学校が北本に長期滞在し地域課題に挑む！ 6月1日学生受入式を北本市役所で開催



北本市



日本写真芸術専門学校



日本写真芸術専門学校QRコード

プロジェクト概要

日本写真芸術専門学校（東京都渋谷区にある東京都認可の写真の専修学校）が行う、学生が長期滞在し今まで学校で学んだスキルを活かし、地域課題を解決するプロジェクト（授業）の実施地域に北本市が選ばれ、6月1日より、北本市と連携し、地域課題解決をめざします。

プロジェクトに参加する学生は3名で、住居はまちづくり推進協定を結ぶ、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）様に、北本団地において、3物件を用意していただきました。

今後、令和3年6月1日に行う受入式を経て、約4か月程度北本市に滞在し、地域課題の設定からスタートし、課題解決に向けた取組みを行っていきます。

受入式スケジュール

日時：令和3年6月1日（火曜日）13時30分～14時15分

場所：北本市役所応接室

内容：実施経緯説明

日本写真芸術専門学校よりプロジェクト趣旨説明

専門学生自己紹介、プロジェクトに対する意向説明



北本市

令和3年11月
北本市は市制50周年
を迎えます

北本市定例記者会見

令和3年5月26日（水）

1



令和3年第2回北本市議会定例会

招集日 令和3年5月31日（月）

議案 条例 2件

事件議決 6件

予算 1件

報告 5件 合計 14件

2



主な議案

- ・ 北本市税条例等の一部改正について
- ・ 令和3年度北本市一般会計補正予算（第5号）
について

3



令和3年度北本市一般会計補正予算（第5号）

補正予算規模 一般会計（第5号） 55,433千円

主な内容

新型コロナウイルス感染症対策関連事業 54,115千円

4

新型コロナウイルス感染症対策関連 主な事業

主な事業

庶務事務システム導入事業	23,760千円
路線バス運行維持支援事業	2,100千円
避難所物品充実事業	20,141千円
小中学校手洗い場水栓ハンドル改修事業	8,114千円

総額54,115千円

5

北本市からのお知らせ



北本市

令和3年11月
北本市は市制50周年を迎えます

6

65歳以上高齢者へ 新型コロナワクチン個別接種スタート（5月26日）



市内介護老人保健施設
でのワクチン接種

■新型コロナウイルスワクチン接種の状況

5月7日（金）～ 高齢者施設の入所者及び従事者への接種開始
（クラスター発生防止の観点）

5月19日（水）～ 65歳以上の一般高齢者の接種予約開始

5月26日（水）～ 65歳以上の一般高齢者への接種開始

※初日は市内31医療機関で計576名が接種見込み

※今後は、毎週約3,500名程度のペースで高齢者への
接種が行われる見込みです。

報告 オンライン シンポジウム 地域循環共生圏 ～循環と共生のまち きたもと～



地域循環共生圏は「ローカルSDGs」とも言われ、国の第5次環境基本計画の中で、国際連合のSDGsの考え方を取り入れたものとして提唱。昨年度から本市をフィールドとして取り組みが進められている中、5月8日（土）にオンラインシンポジウムを開催しました。

【登壇者】

京都大学 田中克（まさる）名誉教授
環境省 中井徳太郎事務次官
北本市 市長公室磯野室長、他

本シンポジウムの様子はyoutubeにて配信中

&green[埼玉県北本市公式Youtubeチャンネル]
<https://www.youtube.com/user/kitamotocity?app=desktop>



月イチマーケットはじまります。 &green market事業



令和2年9月から半年間行われた市民参加型WS「きたもとで考えるマーケットの学校」では、講義編5回、実習編1回の全6回を通して、参加者のみなさんと北本におけるマーケットの必要性やあり方を考えてきました。

令和3年度は実践編として、北本市役所前芝生広場「みどりの広場」を舞台に、月に1回程度の連続企画として、小さなマーケットを実際に開催。コロナ禍における新しい日常に対応した手と足を動かしながら北本のマーケットをみんなで考え、作っていく、マーケットの学校実践編『&green market』が始まります。

予 定

令和3年6月19日(土) 予定

今後毎月開催 次々回7/18(日) 予定

参加者等

昨年度のマーケットの学校参加者を中心とした北本を楽しむマーケットとして
地元野菜や地元野菜を使った店舗の出店、ワークショップ等を実施

9

【北本団地活性化プロジェクト】 北本団地シェアキッチン「中庭」をお披露目



北本団地活性化プロジェクトでは、北本市・暮らしの編集室・UR 都市機構・(株)良品計画・(株)MUJIHOUSE の5者連携事業として、地域資源の発見活用を通して、北本団地の活性化に取り組みました。

北本団地『中庭』は、商店街にある住宅付き店舗を活用した、プロジェクトの活動拠点となるシェアハウス&シェアキッチンで、令和2年度に「ふるさと納税型クラウドファンディング」を実施。寄付者124名から、寄附金額2,004,000円を集め、整備が行われ、5月23日に多くの寄附者をお招きし、お披露目がされました。



住宅付き店舗の2階住宅のリノベーションについては、UR都市機構とMUJIHOUSEによる「MUJI×UR団地リノベーションプロジェクト」事業として、全国初の取組です。

2階住宅をシェアして暮らす若者が、1階店舗で地域活性化のための多様な活動（レンタルキッチンを活用したカフェ等）を行います。

10

「 & green fes project team 」 発足！



市制50周年を記念して開催する、音楽イベント「&green fes（アンドグリーンフェス）」の運営を行うボランティアチーム「&green fes project team」のメンバーを募集したところ、現在までに12歳から68歳までの男女11人の応募がありました。

5月29日（土）に開催する「きたもと暮らし研究会2021」で顔合わせを行います。

日時 5月29日（土）13：00～16：00

会場 北本市役所庁舎ホール（予定）



フェスの運営を通して仲間づくりを行いたい、市役所若手職員やまちづくりにかかわるメンバーと北本の今や未来を一緒に考えます。

&green fes

10月30日（土）開催予定

11

広報きたもと 1000号 記念特集



12

【オリンピック・パラリンピック関連事業】 アルジェリア選手団の事前合宿受け入れ断念

北本市・アルジェリアパラリンピック委員会
事前トレーニングキャンプに関する協定締結式



令和元年12月18日協定締結式の様子

令和元年12月18日にアルジェリアパラリンピック委員会と締結した協定書に基づき、東京2020パラリンピック競技大会に伴う事前合宿の受け入れに向けて調整を進めてきました。

しかし、現在の新型コロナウイルス感染症（変異株）の全国的な拡大やワクチン接種の進捗状況などから、アルジェリア選手団はもとより、北本市民の安全安心を確保することが難しいと判断し、協議により事前合宿の受け入れ中止を決定しました。

今後について

- 1 パラリンピック競技大会期間中のアルジェリア選手団への激励（調整中）
- 2 アルジェリア民主人民共和国関係者との交流事業の実施（調整中）